

# スタッコプライマー#3

エチレン酢酸ビニル(EVA)系エマルジョン

## ■ 特長

1. 吸水の激しい下地に塗布することで、モルタルの塗り下地に対する吸水を調整して、接着性を安定させます。
2. 耐水性・耐アルカリ性に優れているので、長期間安定した性能が得られます。
3. セメントに混入することで、セメントモルタルの物性を向上・安定させることができます。
4. 徹底された品質管理の下で製造していますので、常に安定した性能が得られます。

## ■ 用途

- 吸水調整材(塗布工法)
- ドライアウトの防止(混入工法)
- モルタルの物性向上(混入工法)
- 長期接着耐久性(混入工法)

## ■ 適応下地

コンクリート・PC板・ALCパネル  
コンクリートブロック  
押し出し成型セメント板

## ■ 仕様

塗布工法 (コンクリート)		標準 施工面積	混入工法 (例)		標準 施工面積
スタッコプライマー#3	清水	450~900 m <sup>2</sup> (100~200 g/m <sup>2</sup> )	ライトセメント B0	20 kg (1 袋)	各種モルタル 製品のカタログを 参照ください。
18 kg (1 缶)	72 L		スタッコプライマー#3	2kg	
			清水	3.8~4.8 L	

## ■ 使用方法

### 塗布工法の場合

刷毛・スプレー・デッキブラシ等を用いて下地面にムラなく塗布してください。

塗布後、2 時間~18 時間程度乾燥させてください。その間、埃等が付着しないように注意してください。

※ALC下地の場合は、上記標準配合を前日 1 回・モルタル施工当日 1 回に分けて 2 度塗布してください。

※床面に塗布した場合は、液だまりが出来ないように注意してください。

### 混入工法の場合

ライトセメントシリーズのプレミックスモルタルに混入する場合は、各製品のカタログに記載されている仕様・注意事項に従ってご使用ください。

また、現場調合モルタルに混入する場合は、3 倍希釈で混練りしてください。

## 試験結果

### ※塗布工法の性能

接着試験	結果	規格(日本建築仕上学会規格M-101)
標準状態	異常なし 2.19N/mm <sup>2</sup> (界面:0%)	著しいひび割れ及び剥離離がなく、 接着強度が1.0N/mm <sup>2</sup> 以上で 界面破断が50%以下であること
温冷繰り返し抵抗性	異常なし 1.61N/mm <sup>2</sup> (界面:20%)	
凍結融解抵抗性	異常なし 1.83N/mm <sup>2</sup> (界面:35%)	
熱アルカリ溶液抵抗性	異常なし 1.51N/mm <sup>2</sup> (界面:40%)	

### ※混入工法の性能

試験の種類	試験項目	単位	試験結果	規格(JIS A 6203)
ディスパー ジョン の試験	外観	—	粗粒子・異物・凝固物がない	粗粒子・異物・凝固物がないこと
	比重	—	1.050	—
	PH	—	5.1	—
	粘度(20±1°C)	mPa·s	1410	—
	全固形分	%	45.3	35.0以上
ポリマーセメント モルタル の試験	単位容積質量	kg/ℓ	1.81	—
	曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup>	12.9	8.0以上
	圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup>	34.6	24.0以上
	接着強さ	N/mm <sup>2</sup>	2.3	1.0以上
	吸水率	%	4.0	10.0以下
	透水量	g	3.0	15以下
	長さ変化率	%	0.05	0~0.150

## ホルムアルデヒド放散等級

日本建築仕上材工業会登録	
表示登録番号	0308008
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆

## 荷姿

- ・ 18 kg / 缶
- ・ 3 kg / ポリ容器



**施工上の注意** ●清水には、水道水を使用して下さい。●気温3度以上を維持し、凍結防止の為に適切な養生を行って下さい。●直射日光の当たる所、通風の激しい場所での施工ではシート等で養生を行って下さい。●直射日光下及び3°C以下での保管は避けて下さい。●湿気や雨掛かりに注意して保管して下さい。**安全上の注意**●取り扱う際は、保護メガネ・保護手袋等の保護具を着用して下さい。●取り扱い後は、顔・手・口等を洗浄して下さい。●材料が目に入った場合はただちに水洗いをしてすみやかに医師の診断を受けて下さい。●飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ医師の診断を受けて下さい。●漏出した製品が河川・下水道へ流入すると環境を汚染するおそれがありますので充分注意して下さい。

●廃棄する場合は、産業廃棄物として処理して下さい。

